

第3次日置市総合計画

鹿児島県日置市

はじめに

2005 年（平成 17 年）5 月の日置市誕生から 20 年が経過しました。近年、私たちの社会は、テクノロジーの進化やデジタル化の進展が目覚ましい一方で、人口減少や少子高齢化の進行、自然災害の頻発、新型コロナウイルス感染症の流行などにより、大きく変化しています。

このような変化や多様化するニーズに対応し、より良いまちづくりを進めるためには、市民や事業者の皆さまとの協働は欠かせないものとなっています。

今回、2034 年（令和 15 年度末）を目標とする第 3 次日置市総合計画を策定するにあたり、市民や事業者の皆さまと一緒に、日置市での暮らしを見つめ直し、これからの暮らしやまちの未来がどのようなになっていたらよいか、対話を通じてその思いを集めてまいりました。

今回の計画で掲げる日置の将来の姿は、「わたしから、はじまる。仲間とつながる。思いが、魅力が、活力が、めぐり広がるまち。」です。市民や事業者の皆さま一人ひとりの「わたし」が、尊重され、互いに認め合いながら、理想とするまちをともに創っていくことを目指します。そのためにも、日置市に関わるすべての人たちが、それぞれの持つノウハウや様々な資源を活用しながら、行動できる環境づくりを進めてまいりたいと考えています。

日置市長 永山 由高

マンガでみる 2034年 日置の暮らし

2026年、中学3年生の優香は
学校で未来へのメッセージを書いた。
そのメッセージは2034年の
自分に向けたモノだった。
その週の休みの日に地域の行事に
参加した近所に住む人たちと
雑談をはじめた……



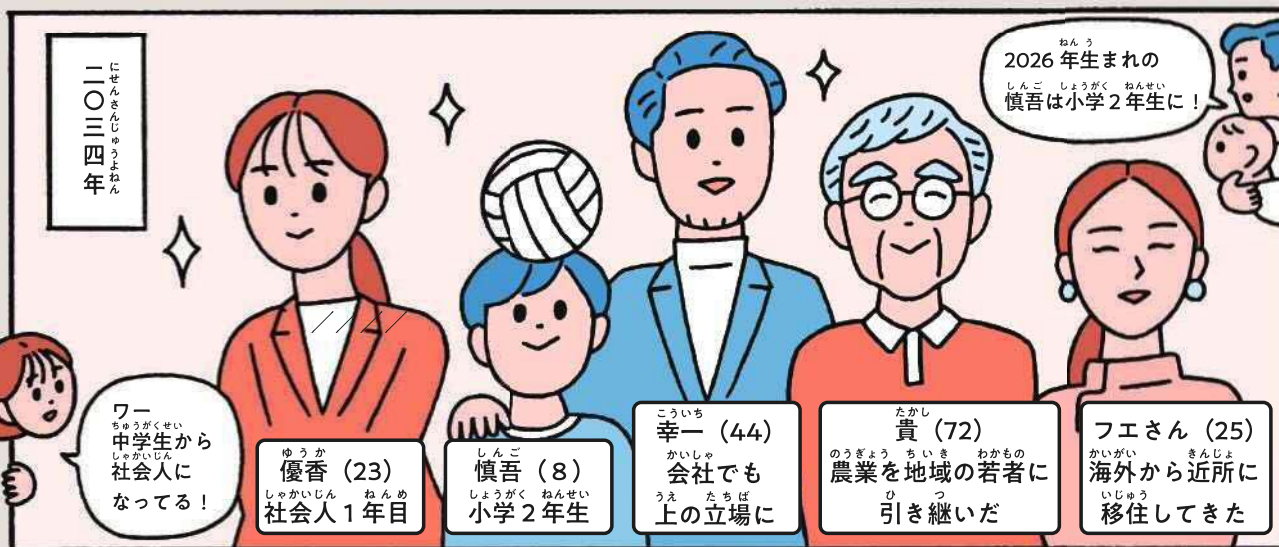


まずみんなは
さいねんれい
+8歳の年齢に
なっているよ



そうぞう
想像してみよう！

ねん
あなたは2034年は
なんさい
何歳かな？



にせんさんじゅうとねん
二〇三四年

ねん う
2026年生まれの
しんご しょうがく ねんせい
慎吾は小学2年生に！

ワー
ちやうがくせい
中学生から
しゃかいじん
社会人にな
っている！

ゆうか
優香 (23)
しゃかいじん ねんめ
社会人1年目

しんご
慎吾 (8)
しょうがく ねんせい
小学2年生

こういち
幸一 (44)
かいしや
会社でも
うえ たちば
上の立場に

たかし
貴 (72)
のうぎょう ちい き わかもの
農業を地域の若者に
ひ つ
引き継いだ

フエさん (25)
かいがい きんじょ
海外から近所に
いじゅう
移住してきた



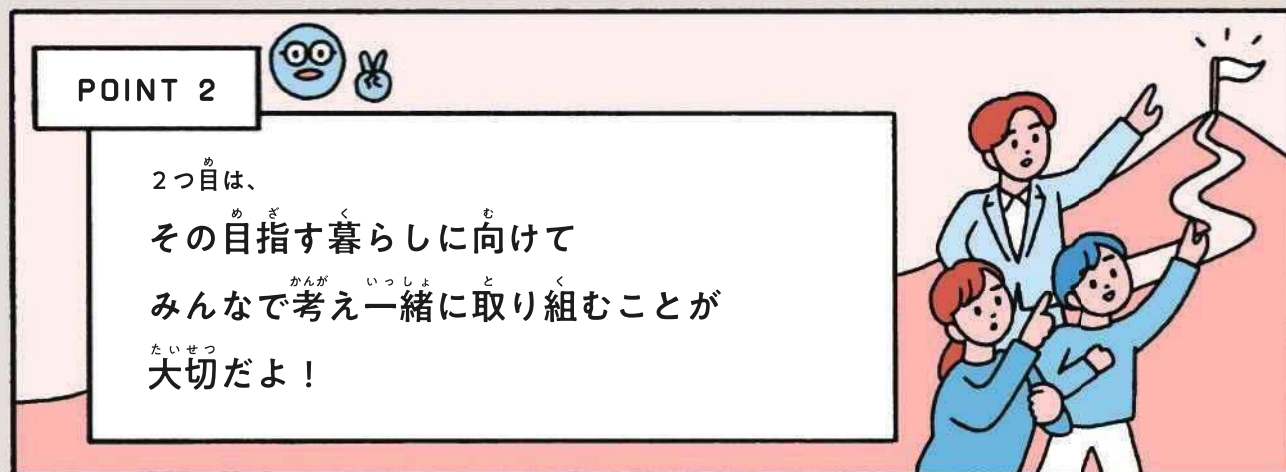
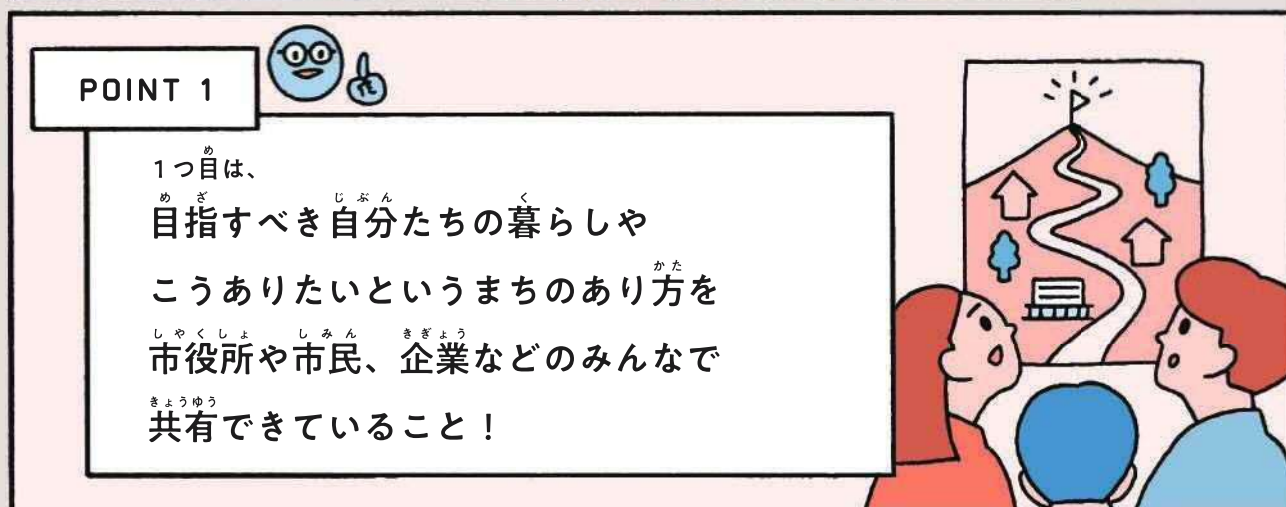
みんなどんな
暮らしを
しているのかな？
そうぞう
想像してみよう

せかい かがや ひと
世界で輝く人に
なりたい！

どんなばしょ
でも
きがる か もの
気軽に買い物や
つういん
通院ができると
いいな～

がっこう じゅぎょう
学校の授業の中に
がっこうがい かつどう
学校外での活動も
たくさん入っていたら
いいな～

せかい め ぎ
世界を目指す
かっこいいかいしゃ
会社
ひおき
日置にたくさんあって
わたし いちいん
私もその一員に
なれたらいいな～



目次

はじめに

第1章 総合計画の策定にあたって

1-1 策定の趣旨 8

1-2 総合計画の位置づけと期間 8

1-3 計画策定のプロセス 10

第2章 日置のありたい姿と市民の暮らし

2-1 日置のありたい姿 12

2-2 市民の暮らし 13

① 日置の未来は「わたし」からはじまる 14

② 多様な世代の学びから挑戦と応援がひろがる 18

③ 社会の変化と日置の未来に向き合う 22

④ 一人ひとりの違いと個性を認めて他者と共生する 26

⑤ 地域資源が活かされ、経済と魅力が循環する 30

⑥ 豊かな自然環境と共生し、未来の世代につなげる 34

第3章 推進体制

3-1 計画の推進体制 42

3-2 各主体の役割 42

付属資料 43

第 1 章

総合計画の
策定にあたって

第1章

総合計画の策定にあたって

1-1 策定の趣旨

総合計画は、日置市における総合的かつ計画的な運営を行っていくための基本となる計画です。どのようなまちを目指すのか、また、目指すべき将来像を市民や事業者などの皆さんと共有し、その実現に向けた取り組みの方向性を示すことで、市役所と市民、事業者などの皆さんが行動するための指針となるものです。

本市は、2005年（平成17年）5月1日に誕生して以降、第1次総合計画（2006年度（平成18年度）～2015年度（平成27年度））、第2次総合計画（2016年度（平成28年度）～2025年度（令和7年度））を策定し、計画に基づき、まちづくりを進めてきました。

この間、人口減少や少子高齢化の進行、大規模災害の発生、新型コロナウイルス感染症の流行、デジタル技術の革新など、本市を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。

特に、人口減少や少子高齢化は今後も進むことが見込まれており（右ページ参照）、これらの現実を受け入れつつも、市民や事業者の皆さんが、いきいきと暮らし続けられる日置市を共に創り上げるための取り組みを進める必要があります。

そのため、多くの市民や事業者の皆さんにご参加いただき、第3次日置市総合計画の策定を進めてまいりました。

市役所や市民、事業者の皆さんが、それぞれの個性や違いを活かしながら、同じ方向に向かって進むため、本計画では基本構想となる「2034年の日置のありたい姿」を定め、その実現に向けた取り組みの方向性を示しました。

1-2 総合計画の位置づけと期間

本計画は、基本構想となる将来の姿「2034年の日置のありたい姿（以下、「日置のありたい姿」）」と、6つの「市民の暮らし」及び「取り組みの方向性」で構成しており、各分野の個別計画の最上位計画として位置付けます。

具体的な施策は、実行性や機動力を確保するため、各分野の個別計画で定めます。

期間は2026年（令和8年）4月1日から2034年（令和16年）3月31日までの8年間とします。

総合計画

基本構想

日置のありたい姿
市民の暮らし、取り組みの方向性

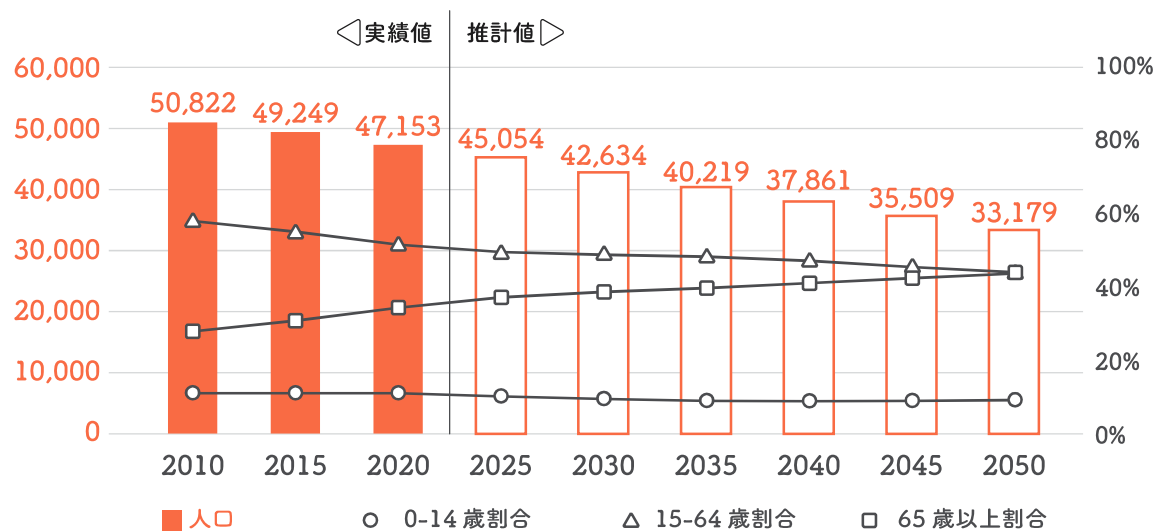


個別計画

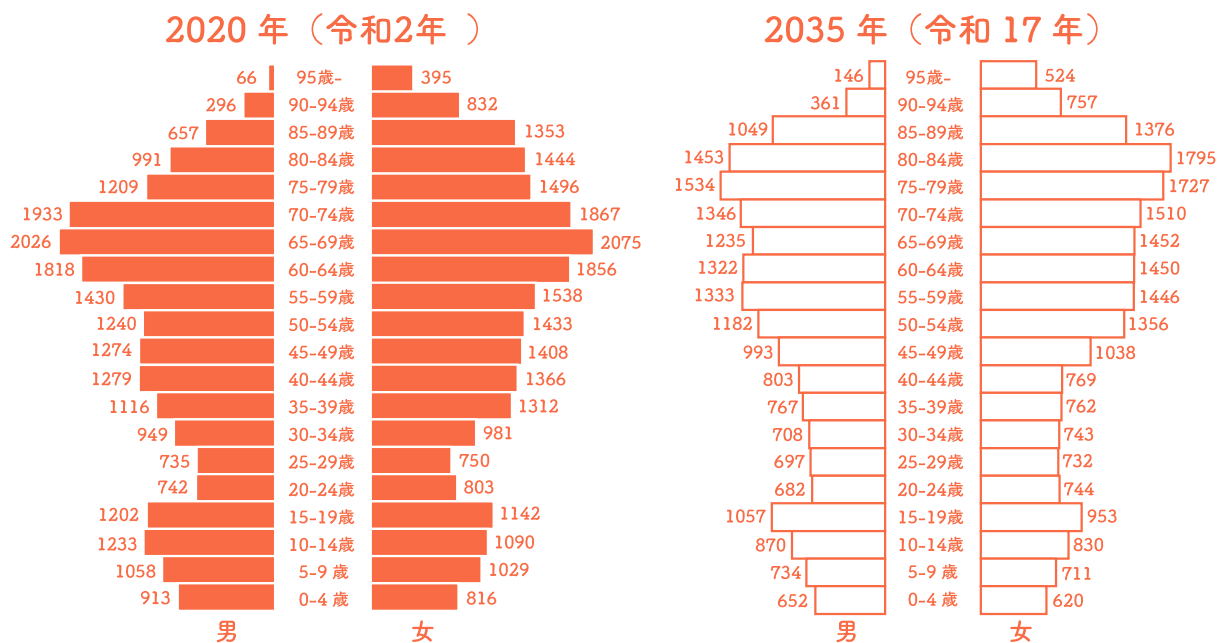
各種個別計画

〇〇計画
〇〇推進計画
〇〇基本計画
〇〇振興計画
〇〇戦略

日置市の人口・年齢構造の推計



人口ピラミッド



図：国立社会保障・人口問題研究所のデータを元に編集



2035 年には、日置市の人口は
40,000 人ぐらいになりそうなんだね

15 歳から 65 歳までと 65 歳以上の
人口の差がどんどんなくなっていくんだね



1-3 計画策定のプロセス

本計画は、市役所と市民が日置の未来をともに考え、ともに行動するための指針となるよう、市民や事業者の皆さんと一緒に活動や対話を通じて未来を描きました。

(1) 日置のいまを知る

本計画をつくるにあたって、日置の未来を描くための活動体「ひおき未来探検隊」(通称“まるひ”)を立ち上げました。まるひは20の探検隊から構成され、それぞれの探検隊が掲げる問いを探求しました。

探検隊の活動にはこどもから高齢者をはじめ、多くの市民に参加いただき、日置の地域資源を幅広く調査しました。また、その結果をもとに、20の探検隊ごとに理想とする将来を描きました。



(2) 日置の未来を描く

市職員による庁内ワーキンググループでは、まるひの活動を引き継ぎ、まるひで得られた市民の思いなどをもとに、「日置のありたい姿」と未来の「市民の暮らし」を具体的に描きました。

(3) 日置の未来を共有する

まるひや庁内ワーキンググループでの活動内容をもとに、「日置のありたい姿」をまとめ上げました。この「日置のありたい姿」の実現に向けて、市役所、市民、事業者の皆さんと同じ方向を目指して一緒に活動を進めていくため、本計画では、漫画やイラストを活用して、市民や事業者などの皆さんが親しみやすく、また、読みやすい計画書を目指しました。

策定プロセスの詳細は付属資料(43ページ以降)に記載していますので、あわせてご覧ください。



第2章

日置のありたい姿と 市民の暮らし

12、13 ページではそれぞれ、「日置のありたい姿」と6つの「市民の暮らし」を記載しています。

14 ～ 37 ページでは、6つの「市民の暮らし」について1つずつ、漫画と文章で詳しく説明しています。計画策定のプロセスで、市民の皆さまから頂いた意見の一部を「市民の声」として掲載し、市民の暮らしを実現するための「取り組みの方向性」と、暮らしの中で取り組めることも合わせて掲載しています。

2-1 日置のありたい姿

第3次日置市総合計画では、目指す未来を「日置のありたい姿」として次のように定めます。

わたしから、はじまる。仲間とつながる。
思いが、魅力が、活力が、めぐり広がるまち。



2-2 市民の暮らし

「日置のありたい姿」を実現するために以下の6つの「市民の暮らし」を目指します。

////////// 6つの市民の暮らし //////////

1 日置の未来は 「わたし」からはじまる

わたしたちは、日々の幸せを実感しながら、健やかな生活を送っています。一人ひとりが、「わたし」を主語に、思いを持って行動することで、共感の連鎖が生まれ、前向きな取り組みが生まれています。

2 多様な世代の学びから 挑戦と応援がひろがる

わたしたちには、年齢を問わず、誰もが学び、挑戦できる機会があります。一人ひとりの挑戦は、互いの応援によって支えられ、挑戦と応援がまち全体に広がっています。

3 社会の変化と 日置の未来に向き合う

わたしたちは、社会の変化と日置の未来に向き合い、しなやかに暮らし続けています。その暮らしでは、地域のなかで支え合う意識が根づき、安全と安心を感じています。

4 一人ひとりの違いと 個性を認めて他者と共生する

わたしたちは、一人ひとりの違いや個性を尊重し合い、信頼を育んでいます。こどもから大人まですべての人が、相互の関わりの中で、居場所があることを感じています。

5 地域資源が活かされ、 経済と魅力が循環する

わたしたちは、地域資源を活かした産業の活性化に取り組んでいます。資源を活かした産業が、経済を活性化し、地域資源の魅力と価値をさらに高める好循環が生まれています。

6 豊かな自然環境と共生し、 未来の世代につなげる

わたしたちは、暮らしの基盤である豊かな自然を守り育てながら、自然と共生した社会経済活動を行っています。それらの取り組みを通して、日置の誇るべき豊かな自然環境を未来の世代につなげています。





1つ目の暮らしは

ひ お き み ら い
日置の未来は

「わたし」からはじまる



“わたし”からはじまる？
それって
どういうことなの？

まずは

じぶん
自分がどんな暮らしを

たいせつ
大切にしたいか

じぶん しあわ かんが
自分の幸せを考えるんだ

うえ あいて いけん みみ かたむ
その上で相手の意見に耳を傾け

たいわ
対話しながらいろんなことを

かんが
考えていくということだよ



つまり



1

じぶん じぶん しあわ
まずは自分自身の幸せや
けんこう かんが
健康を考える



2

うえ たしや いけん
その上で他者の意見を
しんけん きん たいわ
真剣に聞いて対話する



3

そして他者のことや
じぶん
自分のまわりのこと
しゃかい
社会のことなどもかんが
考えていく



まずはわたしのことから
かんが たしや
考えることで他者のことを
かんが
考えることにつながるのね

まわ ひと はなし き
周りの人の話を聞き
たいわ
対話することで
きょうかん おうえん
共感や応援が生まれる



わたし



他者



これって自分からはじめて
ひと おも
いろんな人に思いが
れんさ
連鎖していくイメージかな



そして周りの人からまちへ

まち

まわ ひと
周りの人やまちのこと
しゃかい
社会のことがわたしのやりたい
おも
と思うことにつながる



1 日置の未来は 「わたし」からはじまる

わたしたちは、日々の幸せを実感しながら、健やかな生活を送っています。
一人ひとりが、「わたし」を主語に、思いを持って行動することで、共感の連鎖が生まれ、
前向きな取り組みが生まれています。



海水浴してみたい！

こどもと一緒に体を動かせる場や自分の
ライフスタイルに合った健康づくりの場
が近所にあるといいなあ



移住してきたばかりで地域のつながり
がなくて、不安だな…。いろいろな人
と自由につながって楽しいと思える自
治活動があるとうれしいあ。幼いこど
もと一緒にいっても大丈夫かな？



地域の行事や活動に若い人やこどもたち
が参加できればきっと楽しいし、将来に
もつながると思うなあ



「せっぺとべ」って400年続いているん
だって。大切にしたいな。大人になっ
たら、泥んこになって飛び跳ねるぞ！



取り組みの方向性

(1) わたしたちそれぞれが、健康で、幸せを実感できる環境づくりを推進します

- ① 様々な世代の健康づくりの推進
- ② 高齢者等を支える地域包括ケアシステムの深化・推進

(2) 子どもたちが未来に希望を抱ける社会の実現を促進します

- ① 社会の様々な活動に子どもが参加することの意義や重要性の理解促進
- ② こどもまんなかアクションの推進

(3) 自治会や地区をはじめとする様々なコミュニティの活動や協働の取り組みを促進します

- ① 自治会をはじめとするコミュニティ活動の促進
- ② 社会の変化を対話できる機会の創出
- ③ 様々な立場の関係者とのネットワーク構築や協働の取り組みの推進

暮らしの中で取り組めること



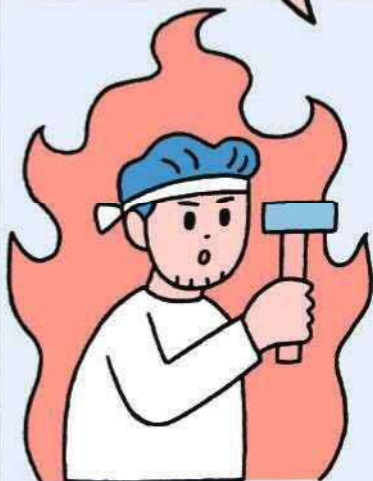
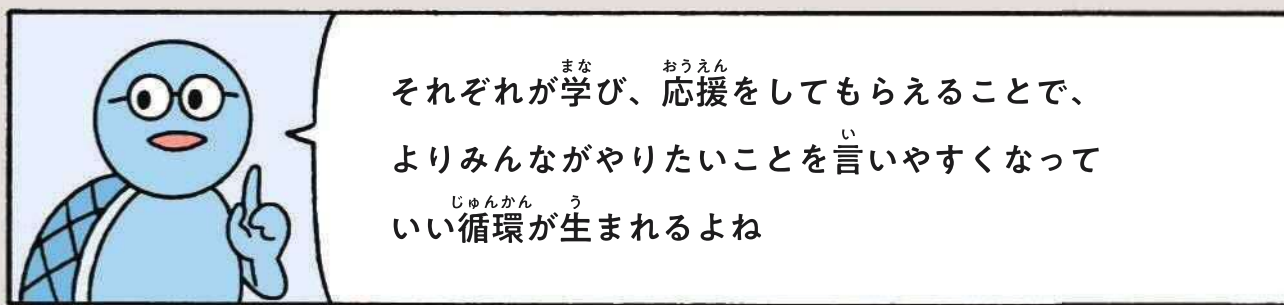
- ☒ 健康づくりの活動や自らの健康を考えてみよう
- ☒ 若い世代やこどもの意見を聞いてみよう
- ☒ 話し合いの場に参加してみよう



2つ目の暮らしは

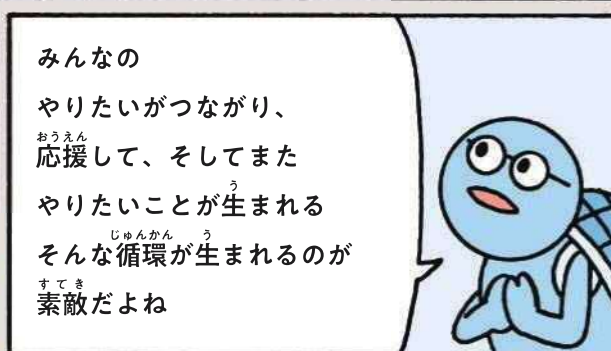
多様な世代の学びから 挑戦と応援がひろがる



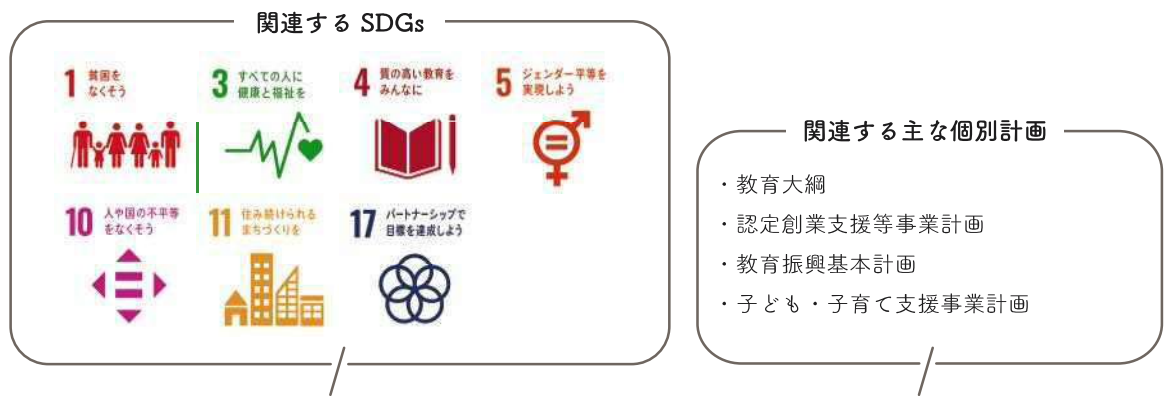


まな
学ぶ

ちやうせん
挑戦
&
おうえん
応援



[illegible]



取り組みの方向性

(1) こどもの「やりたい」をみつけ、個性を尊重する教育を推進します

- ① 個性を育てる学校教育の推進
- ② 地域が一体となって子どもを育てる体制の整備

(2) 挑戦したいと思える環境を整備し、挑戦する人を応援できる仕組みを構築します

- ① 子どもや若年層の挑戦を引き出す機会の創出
- ② 創業を目指す人に対する学びの場や人材を多様な関係者と支える体制の整備
- ③ 子どもが未来に向けて多様な選択ができるための仕事や芸術文化に触れ合う機会の創出

(3) すべての年齢層にわたって成長できる学びの機会をつくります

- ① 年齢を問わず、様々な人がそれぞれの状況に応じて学べる機会の創出

暮らしの中で取り組めること



- ☒ こどもとたくさん話^{はなし}をしてみよう
- ☒ 挑戦^{ちょうせん}している人^{ひと}から話^{はなし}を聞^きいてみよう
- ☒ 頑張^{がんば}っている人^{ひと}や挑戦^{ちょうせん}している人^{ひと}を応援^{おうえん}しよう



3つ目の暮らしは

社会の変化と

日置の未来に向き合う



どんな変化に
どうやって
向き合っ
ていくの
だろう？



人口減少 ↓ の時代

だからこそ

みんなで工夫して



生活



インフラの維持



防災

など

に取り組もう！

どうやって
みんなで取り組んで
いくのかな？



日頃から
できることは
あるのかな？

日頃の地域での話し合いや
災害に備えた工夫や取り組みが
とても大切なんだよ！

もちろんだよ！





3

社会の変化と 日置の未来に向き合う

わたしたちは、社会の変化と日置の未来に向き合い、しなやかに暮らし続けています。
その暮らしでは、地域のなかで支え合う意識が根づき、安全と安心を感じています。



インフラって多様な役割を担っているね。
人が減っていても、新しい技術を活用することや技術を継承することが大切だね。

運転免許を返納しても、移動販売が近くに来てくれるからありがたいな。その時にみんなに会ってしゃべるのが楽しみだね。



こどもや地域の人と一緒に防災を学べる機会があれば、いざという時にとっさの行動ができて、助け合えるよね。

市役所の人たちと同じ方向を向いてまちの未来のために一緒に考え、活動できるといいな。



関連する SDGs



関連する主な個別計画

- ・都市計画マスタープラン
- ・空家等対策計画
- ・立地適正化計画
- ・公営住宅等長寿命化計画
- ・橋梁長寿命化修繕計画
- ・地域公共交通計画
- ・水道ビジョン
- ・公共施設等総合管理計画
- ・地域防災計画
- ・財政計画

取り組みの方向性

(1) 人口減少や高齢化など社会の変化に対応した持続可能な社会基盤の維持・運用を行います

- ① 安全で安定的な水の供給
- ② 持続可能な道路や橋梁、住宅、公園などの社会基盤の構築と運用
- ③ 社会の変化や地域特性に応じた計画的な土地利用の推進

(2) 日常生活時から災害等の非常事態時対応まで、安全安心に暮らす力を育てます

- ① 日常生活における安全、安心の確保
- ② 防災体制の整備の促進
- ③ 市民や地域の防災意識の向上
- ④ 防災・減災、国土強靱化と災害復旧の推進

(3) 地域の力や先進技術を活用し、社会の変化に対応した暮らしのための仕組みをつくります

- ① 先進技術や地域の力を活用した持続可能な移動手段の構築
- ② 多様な関係者と買物が困難な人を支える仕組みづくり

(4) 変化する社会に対応する行政組織をつくります

- ① デジタル技術の活用による効率的な行政運営
- ② 持続可能な財政運営

暮らしの中で取り組めること



- ☒ もしも災害が起きたら？想像してみよう
- ☒ 災害や防災の講座に参加してみよう
- ☒ 地域の困ったに対して、何かできるか話し合ってみよう

4

4つ目の暮らしは

一人ひとりの違いと

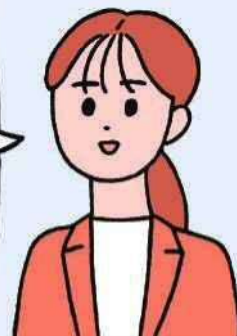
個性を認めて

他者と共生する



わたしは海外からきたよ！
みんなと国籍や言語が
違うからとまどうことも
多いよ

わたしは日本人だけど
他の人と違う部分
がたくさんあるよ。
本当は、みんなも
一人ひとり違うよね



みんなに
個性があって
すべて一緒の
人なんて
いないよね



僕も仲がいい友達と意見が
違うこともあるけれど、
いろいろな考えを知れて
楽しいよ

妊娠してから
自分の中で
変わったことが
たくさんあるわ



みんなが違うし
それぞれ認め合うことが大事だね！



いろんな人がいて
当たり前だね！
その人をその人らしく
認めるために
どんなことが
できるかな？

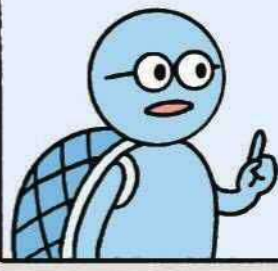
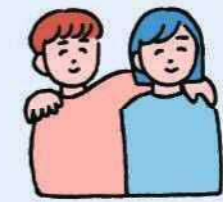
まずは
いろんな人と出会い、
話をして、
どんなことを
考えているか
知っていこう



一人ひとりの違いと個性を認めて他者と共生する

ひとり 一人ひとりが違うことを知って
その違いや個性を認めることが大切なんだ

そのためには
みんなで集まる場所や
力を合わせる体験をすることが必要だよ



POINT
ちい き し あ おお
地域に知り合いが多いことは
こそだ あんしんかん
子育てにだって安心感があるよ



4

一人ひとりの違いと個性を認めて 他者と共生する

わたしたちは、一人ひとりの違いや個性を尊重し合い、信頼を育んでいます。こどもから大人まですべての人が、相互の関わりの中で、居場所があることを感じています。



「地域でこどもを育てる」という考えやそのような仕組みが広がると、子育てしやすくなるし、こどもたちにも地域を誇りに思ってもらえるかも！

人それぞれの違いを尊重し合えるようになれば、地域社会に進んで参加できて、もっとこのまちが好きになれると思う。



地域のなかに、こどもが勉強できたり、高齢者の見守りにもなるような多世代が交流できる場があるといいなあ。



取り組みの方向性

(1) 違いや個性を尊重し合い、ともに生きられる社会の実現を推進します

- ① 違いや個性を認め合い、すべての人が尊重される社会の形成
- ② すべての人が共生するための重層的支援体制の構築
- ③ 多様な属性を持つ人が誰でも参画できる社会の仕組みづくり

(2) 地域や多様な関係者の支援体制の構築により、安心して出産・子育てができる環境を整備します

- ① 地域全体で子どもや子育て家庭を支える社会の形成
- ② 親や子が集う・遊ぶ・学ぶ・居場所等の環境づくりの推進
- ③ 妊娠期から、子育て世帯、子どもへ一体的な相談支援体制の充実

(3) 高齢者、障がい者及び生活困窮者などの自立に向けた支援を促進します

- ① 介護、障がい、生活困窮など、「支援」が必要な人に、状況に応じた支援体制の整備

暮らしの中で取り組めること



- ☒ **困っている人がいたら、まずは声をかけてみよう**
- ☒ **相手の話を真剣に聞いてみよう**
- ☒ **信頼できる人に悩みを相談してみよう**



5つ目の暮らしは

地域資源が活かされ、
経済と魅力が循環する



暮らしと経済は
どんな関係が
あるんだろう？



実は



はたらく側も雇用する側も
買う側も作る側も
どちらもいないと成り立たないよね

買い物をするときも

ひおきさん
日置産のものを
えらぼう



ひおき おうえん
日置の応援に

ひおきさん
日置産のものを
を提供



ひおき
日置で
買う人がいるから
つづき続けられる

ひおき
日置の
のうか
農家さん

かんこう
観光として
ちようきたいがいしや
長期滞在者が増える



ちいき
地域のことが
好きになる

ちいき
地域力になる



いじゅう
移住したり

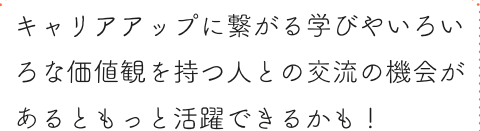
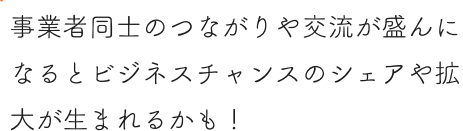
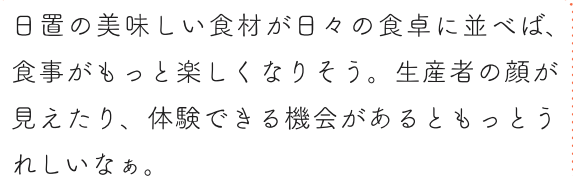
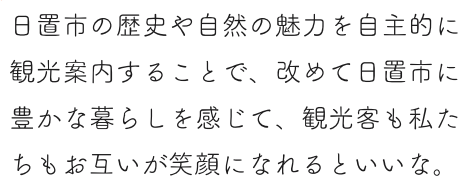


かんけいじんこう
関係人口に
なったり

かんこう
観光も



わたしたちは、地域資源を活かした産業の活性化に取り組んでいます。資源を活かした産業が、経済を活性化し、地域資源の魅力と価値をさらに高める好循環が生まれています。





取り組みの方向性

(1) 新規創業や企業の経営基盤強化の支援を推進します

- ① 創業を目指す人に対する学びの場や人材を多様な関係者と支える体制の整備
- ② 規模拡大や経営の多角化への支援
- ③ 商品のブランディングや販路拡大への支援
- ④ 様々な立場の関係者とのネットワーク構築や協働の取り組みの推進

(2) 農林水産業における担い手確保や経営基盤の強化への支援、生産基盤の整備を推進します

- ① 新規就業者の確保
- ② 自然環境や安全安心に基づいた農林水産物の高付加価値化の取り組みの推進
- ③ 様々な立場の関係者とのネットワーク構築や協働の取り組みの推進
- ④ 生産基盤の整備と安定した生産体制の推進

(3) 雇用の創出につながる企業誘致や人材確保、多様な働き方を生み出す事業者との協働や支援を推進します

- ① 本社機能などの企業誘致の推進
- ② 企業等の人材確保の支援
- ③ 多様な働き方を実現するための支援

(4) 自然や歴史、伝統、アート、食、スポーツなどの地域資源を活かした、戦略的な観光を推進します

- ① 戦略に基づいた観光振興
- ② 資源を活用した積極的な観光の推進
- ③ 自然や歴史、伝統、アート、食、スポーツなど日置市の魅力を最大限に活用した体験型観光の推進

(5) 関係人口を創出するとともに、人材の流入を促進します

- ① 関係人口の創出と移住促進

暮らしの中で取り組めること

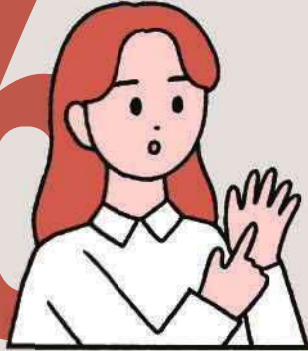


- ☒ ひおきさん 日置産のおいしいものをたくさん食べよう
- ☒ す 住んでいる地域では何が作られているのか調べてみよう
- ☒ ひと はなし まちの人と話をし、交流の輪をひろげよう

6

6つ目の暮らしは

豊かな自然環境と共生し、
未来の世代につなげる



僕は日置の
自然が好きだよー！
でも普段の暮らしに
どんな関係が
あるのかな？



例えば
最近の夏は
とても暑く
なっているよね



たしかに昔よりもかなり暑くなってきたなあ
豊かな自然を守りながら、自然と共生する
ためには、どうしたらいいのだろう

起こりうるリスクたち



砂浜がなくなってしまう！
豊かな海がなくなるかも……



サルやイノシシ、鹿などが
田畑や暮らしの中に入ってくるかも

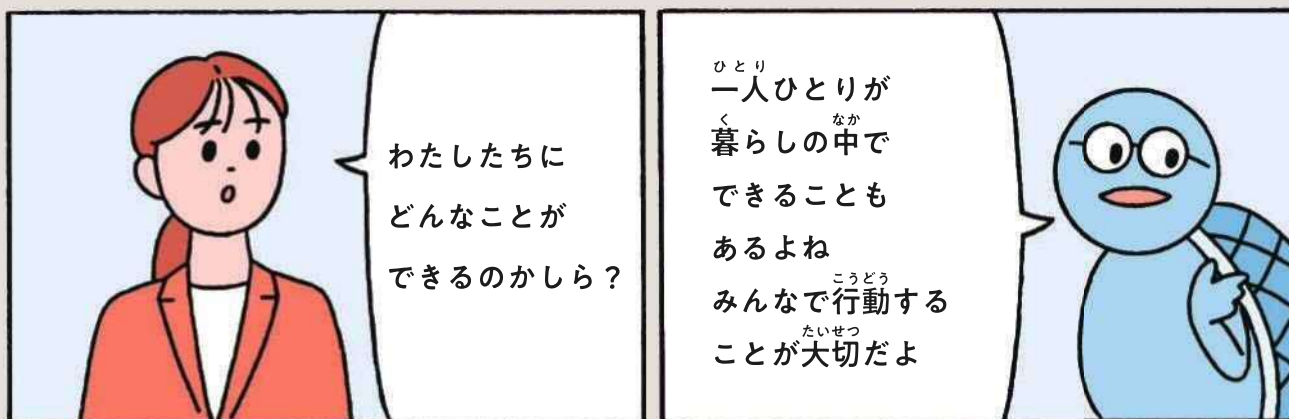


異常気象や災害のリスクも



さまざまな生物たちと
出会えなくなってしまうかも

この自然や
暮らしを守る
ためにみんなで
取り組むよ



6 豊かな自然環境と共生し、 未来の世代につなげる

わたしたちは、暮らしの基盤である豊かな自然を守り育てながら、自然と共生した社会経済活動を行っています。それらの取り組みを通して、日置の誇るべき豊かな自然環境を未来の世代につなげています。

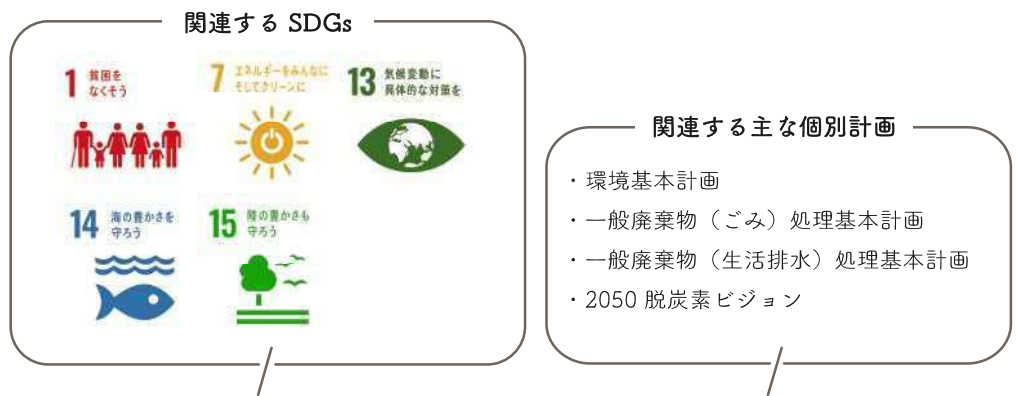


学校以外にも、農業体験や多様な自然と触れ合う機会があれば、子どもにとってもいい経験になると思う。

生ごみをたい肥にしたり、洋服なんかの譲渡会をしたり、紙袋のリユースをしたり、日置市のいろんなところで環境にやさしいことしているよ。もっと知ってもらいたいね。

誰でも無理なく気軽に省エネや再エネに取り組めて、脱炭素社会に貢献できる生活が送れるといいなあ。

“ニンゲン”だけでなく、魚や虫も居心地のいい場所が増えるといいな。



取り組みの方向性

(1) 豊かな自然環境を日置が誇る貴重な資源として捉え、守り、育て、共生する社会の仕組みをつくります

- ① 生き物を含めたみんなで豊かになることを目指すための取り組みの促進（ネイチャーポジティブの推進）
- ② 自然と共生するための環境意識の醸成

(2) 地域内資源循環を促すなど、次の世代に豊かな自然環境をつなげる取り組みを推進します

- ① 省エネルギーや再生可能エネルギー等の推進によるゼロカーボンシティ※の実現
- ② 資源物の再資源化の推進

※ゼロカーボンシティ：2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを旨とする自治体のこと

暮らしの中で取り組めること



☒ 住んでいる地域の川や森に出かけてみよう

☒ 身近にある木や花、生き物の名前を調べてみよう

☒ 毎日使うものが何からできていて、捨てたあとにどうなるのか調べてみよう

市民の暮らしと取り組みの方向性の一覧

1. 日置の未来は「わたし」からはじまる

- (1) わたしたちそれぞれが、健康で、幸せを実感できる環境づくりを推進します
- (2) こどもたちが未来に希望を抱ける社会の実現を促進します
- (3) 自治会や地区をはじめとする様々なコミュニティの活動や協働の取り組みを促進します

2. 多様な世代の学びから挑戦と応援がひろがる

- (1) こどもの「やりたい」をみつけ、個性を尊重する教育を推進します
- (2) 挑戦したいと思える環境を整備し、挑戦する人を応援できる仕組みを構築します
- (3) すべての年齢層にわたって成長できる学びの機会をつくります

3. 社会の変化と日置の未来に向き合う

- (1) 人口減少や高齢化など社会の変化に対応した持続可能な社会基盤の維持・運用を行います
- (2) 日常生活時から災害等の非常事態時対応まで、安全安心に暮らす力を育てます
- (3) 地域の力や先進技術を活用し、社会の変化に対応した暮らしのための仕組みをつくります
- (4) 変化する社会に対応する行政組織をつくります

4. 一人ひとりの違いと個性を認めて他者と共生する

- (1) 違いや個性を尊重し合い、ともに生きられる社会の実現を推進します
- (2) 地域や多様な関係者の支援体制の構築により、安心して出産・子育てができる環境を整備します
- (3) 高齢者、障がい者及び生活困窮者などの自立に向けた支援を促進します

5. 地域資源が活かされ、経済と魅力が循環する

- (1) 新規創業や企業の経営基盤強化の支援を推進します
- (2) 農林水産業における担い手確保や経営基盤の強化への支援、生産基盤の整備を推進します
- (3) 雇用の創出につながる企業誘致や人材確保、多様な働き方を生み出す事業者との協働や支援を推進します
- (4) 自然や歴史、伝統、アート、食、スポーツなどの地域資源を活かした、戦略的な観光を推進します
- (5) 関係人口を創出するとともに、人材の流入を促進します

6. 豊かな自然環境と共生し、未来の世代につなげる

- (1) 豊かな自然環境を日置が誇る貴重な資源として捉え、守り、育て、共生する社会の仕組みをつくります
- (2) 地域内資源循環を促すなど、次の世代に豊かな自然環境をつなげる取り組みを推進します

- 1-(1)-① 様々な世代の健康づくりの推進
 - 1-(1)-② 高齢者等を支える地域包括ケアシステムの深化・推進
 - 1-(2)-① 社会の様々な活動に子どもが参加することの意義や重要性の理解促進
 - 1-(2)-② 子どもまんなかアクションの推進
 - 1-(3)-① 自治会をはじめとするコミュニティ活動の促進
 - 1-(3)-② 社会の変化を対話できる機会の創出
 - 1-(3)-③ 様々な立場の関係者とのネットワーク構築や協働の取り組みの推進
-
- 2-(1)-① 個性を育てる学校教育の推進
 - 2-(1)-② 地域が一体となって子どもを育てる体制の整備
 - 2-(2)-① 子どもや若年層の挑戦を引き出す機会の創出
 - 2-(2)-② 創業を目指す人に対する学びの場や人材を多様な関係者と支える体制の整備
 - 2-(2)-③ 子どもが未来に向けて多様な選択ができるための仕事や芸術文化に触れ合う機会の創出
 - 2-(3)-① 年齢を問わず、様々な人がそれぞれの状況に応じて学べる機会の創出
-
- 3-(1)-① 安全で安定的な水の供給
 - 3-(1)-② 持続可能な道路や橋梁、住宅、公園などの社会基盤の構築と運用
 - 3-(1)-③ 社会の変化や地域特性に応じた計画的な土地利用の推進
 - 3-(2)-① 日常生活における安全、安心の確保
 - 3-(2)-② 防災体制の整備の促進
 - 3-(2)-③ 市民や地域の防災意識の向上
 - 3-(2)-④ 防災・減災、国土強靱化と災害復旧の推進
 - 3-(3)-① 先進技術や地域の力を活用した持続可能な移動手段の構築
 - 3-(3)-② 多様な関係者と買物が困難な人を支える仕組みづくり
 - 3-(4)-① デジタル技術の活用による効率的な行政運営
 - 3-(4)-② 持続可能な財政運営
-
- 4-(1)-① 違いや個性を認め合い、すべての人が尊重される社会の形成
 - 4-(1)-② すべての人が共生するための重層的支援体制の構築
 - 4-(1)-③ 多様な属性を持つ人が誰でも参画できる社会の仕組みづくり
 - 4-(2)-① 地域全体で子どもや子育て家庭を支える社会の形成
 - 4-(2)-② 親や子が集う・遊ぶ・学ぶ・居場所等の環境づくりの推進
 - 4-(2)-③ 妊娠期から、子育て世帯、子どもへ一体的な相談支援体制の充実
 - 4-(3)-① 介護、障がい、生活困窮など、「支援」が必要な人に、状況に応じた支援体制の整備
-
- 5-(1)-① 創業を目指す人に対する学びの場や人材を多様な関係者と支える体制の整備
 - 5-(1)-② 規模拡大や経営の多角化への支援
 - 5-(1)-③ 商品のブランディングや販路拡大への支援
 - 5-(1)-④ 様々な立場の関係者とのネットワーク構築や協働の取り組みの推進
 - 5-(2)-① 新規就業者の確保
 - 5-(2)-② 自然環境や安全安心に基づいた農林水産物の高付加価値化の取り組みの推進
 - 5-(2)-③ 様々な立場の関係者とのネットワーク構築や協働の取り組みの推進
 - 5-(2)-④ 生産基盤の整備と安定した生産体制の推進
 - 5-(3)-① 本社機能などの企業誘致の推進
 - 5-(3)-② 企業等の人材確保の支援
 - 5-(3)-③ 多様な働き方を実現するための支援
 - 5-(4)-① 戦略に基づいた観光振興
 - 5-(4)-② 資源を活用した積極的な観光の推進
 - 5-(4)-③ 自然や歴史、伝統、アート、食、スポーツなど日置市の魅力を最大限に活用した体験型観光の推進
 - 5-(5)-① 関係人口の創出と移住促進
-
- 6-(1)-① 生き物を含めたみんなで豊かになることを目指すための取り組みの促進（ネイチャーポジティブの推進）
 - 6-(1)-② 自然と共生するための環境意識の醸成
 - 6-(2)-① 省エネルギーや再生可能エネルギー等の推進によるゼロカーボンシティの実現
 - 6-(2)-② 資源物の再資源化の推進

第3章

推進体制

3-1 計画の推進体制

本計画に掲げる「日置のありたい姿」を実現するためには、行政だけでなく、市民や事業者など様々な関係者の参画が不可欠です。そのため、各主体がそれぞれの役割のもとに、連携・協力して取り組む必要があります。

3-2 各主体の役割

市役所の役割

市役所は、本計画に掲げる「日置のありたい姿」を実現するための施策や事業を推進します。市役所職員は、本計画を理解した上で、自分の業務がどのようにその実現に貢献できるかを考えながら、日々の業務を遂行していくことが必要です。さらには、市民や事業者などに対して、積極的に情報発信を行い、多様な主体との対話を行うことで、協働できる体制を構築することが求められます。

市民の役割

市民一人一人は、日置に関わる一員として、自身や日置の未来に向かって活動していくことが求められます。そのためには、自身や日置の未来について、家族や友人、地域の仲間などと話し合い、その実現のために、行政、地域住民、自治会等の関係団体とともに連携して、行動することが望まれます。

事業者の役割

事業者は、自らの活動が市民の暮らしを支える一員として、様々な活動を通じて、地域社会に貢献していくことが期待されています。そのためには、地域資源を活かした活動や、その地域資源の魅力を高める活動などを行政や市民、他の事業者などの様々な関係者と連携して、行動することが望まれます。

付属資料

計画策定のプロセスについて

持続可能な開発目標（SDGs）について

計画策定のプロセスについて

令和5年	10月	日置市総合計画審議会（策定方針について）
令和6年	3月	日置市総合計画審議会（策定プロセスについて）
	5月	ひおき未来探検隊（まるひ）「決起篇」
	6-7月	ひおき未来探検隊（まるひ）「宝探し篇」
	7月	ひおき未来探検隊（まるひ）「山分け篇」
	8月	日置市総合計画審議会（経過報告）
	9月	ひおき未来探検隊（まるひ）「次なる作戦篇」
令和7年	10-12月	庁内ワーキンググループ（全4回）
	3月	日置市総合計画審議会（総合計画素案について）
	6月	日置市総合計画審議会（総合計画案の諮問）
	6-7月	パブリックコメントの実施
	8月	日置市総合計画審議会（総合計画案の答申）



（１）ひおき未来探検隊（まるひ）の活動

第３次総合計画を策定するにあたって、市民や事業者の皆さん、市職員とともに「ひおき未来探検隊（まるひ）」を結成して活動を行いました。

まるひでは、20の問いを起点として、20の問いごとに、隊長・副隊長（市民）、案内人（市職員）の体制で、未来を考えるための活動を実施しました。

決起篇（令和６年５月）.....

隊長・副隊長と案内人を対象に、「まるひ」のねらいの共有、宝探し篇の企画を実施。（参加者 70 人）



宝探し篇（令和６年６月～７月）.....

問いごとの各探検隊が、フィールドワークやワークショップなどを主体的に企画・実行した日置にある“宝”を集める参加型の調査。（延べ 26 回、参加者約 300 人）



山分け篇（令和6年7月）

各探検隊が宝探し篇で見つけた“宝”をもとに、来場者が未来への“希望”を、対話を通じて描く公開イベント。（参加者約200人）



次なる作戦篇（令和6年9月）

山分け篇で出された未来への“希望”をもとに、隊長、副隊長、案内人が、“ありたい将来像”として言語化を実施。（参加者68人）



まるひの活動の起点となった20の問い

1 移動と暮らし

明日も、明後日も、10年後も買い物、通院、友達との世間話をこれからも楽しく続けていくには、どのように変え、または変えずに守っていくべきだろう？

2 保健と医療

年をとっても、楽しい！と思い続けられる生活を当たり前にするために、わたしたちはどんなことができるだろう？

3 空き家と農地

わたしたちが描く未来の日置では、山村集落、沿岸集落、田園集落の空き家や田畑はどのように描かれている？

4 自治と協働

これまで自治を守っていた自治会員が半減する日置の未来では、地域のつながりや必要な活動は、誰がどのように支えていけるだろう？

5 地域防災

年々ますます激しくなる地震、台風、大雨などの災害から、わたしたちはどのように自らの命を守っていけるだろう？

6 自治体運営

社会が大きく変わっている中、これからの日置市役所は、どのような使命を持ち、どのような価値観で運営されるのだろうか？

7 インフラ

未来の日置に暮らす私たち自身は、道や川、港や橋、上下水道をどのように使い、守り、向き合っていくのだろうか？

8 多様性

地域に暮らす多様な人々（こども・大人、高齢者、障がい者、異文化、外国人、LGBTQ など）がいることを知り、目を向け、ともに考え、暮らす未来の日置では、一人ひとりが大切に扱われる状況はどのように実現している？

9 産業活性

日置の会社やお店の多くが、永く生き生きと活躍している未来は、どのように実現している？

10 観光

日置の地域資源（人・場所・物語）が存分に生かされた観光が実現した未来では、具体的にどのような観光が実現している？

11 経営

日置に暮らす人たちと日置を舞台に働く会社が、お互いにとって良い形で価値を高めあう未来は、どのように実現している？

12 働き方

いろいろな価値観や考え方を許し合い、みんなが自分らしく働いている未来の日置では、どのような働き方をどのように実現している？

13 里山・里海

環境、環境というけれど、結局のところ、「わたしたちが守りたい環境」ってどんなもの？そのためにわたしたちはなにができる？

14 資源循環

わたしたちが暮らしの中で、当たり前のように生み出しているゴミ。このゴミをゴミで終わらせず、次の姿につなげるには、どのようにすればよい？

15 脱炭素

日置で暮らすわたしたちが、暮らしのエネルギーを自ら生み出しわたしたちの暮らしを取り巻く環境を守りながら、豊かになっていくために、なにができるのだろうか？

16 農業・林業・水産業

未来の日置で、農業・林業・水産業が持続成長しているとしたら、それはどんなかたち、どんなあり方で持続成長していた？そのために、わたしたちができることは何だろうか？

17 全世代の学び

自らの未来をつくる「学び」を、学校を卒業しても続けていくために、何ができるだろうか？

18 芸術

芸術が市民の暮らしに根付いた時、どんな未来がはじまるだろう？

19 こども

「次世代を担うこどもたちが、健やかに成長する」とは、どんなことで、わたしたちは何ができるのだろうか？

20 伝統文化

地域やわたしたちにとって、伝統芸能・伝統文化にどんな価値があるのだろうか？

(2) 庁内ワーキンググループでの検討

まるひの活動に案内人として伴走してきた市職員で庁内ワーキンググループを組織し、まるひの活動を引き継いだ上で、2034年の日置のありたい姿と、未来に暮らす市民の姿について、当事者視点で描くとともに、2034年に向けた工程表を作成。(全4回、職員37人)

令和6年10月29日

- ・基本構想の体系の把握と目線合わせ
- ・ありたい姿と市民像の議論
- ・相関図とシナリオの作成

令和6年11月14日～11月15日

- ・ありたい姿に必要な活動・資源の洗い出しと紐づけ
- ・相関図とシナリオの作り込み

令和6年12月10日

- ・ありたい姿を象徴するシーンの朗読劇
- ・シナリオを使ったありたい姿と活動・資源の説明
- ・ありたい姿に関する市長との対話

令和6年12月25日

- ・まるひと庁内ワーキンググループの内容の振り返り
- ・探検隊ごとの工程表とありたい姿の作成



持続可能な開発目標（SDGs）について

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標で、2015年9月の国連サミットにおいて採択され、2030年を達成期限とした17の国際目標から構成されています。

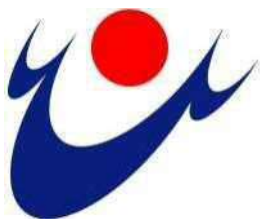
第3次日置市総合計画を策定するにあたり、SDGsの目標と関連させるため、17のゴールのロゴを取り組みの方向性に位置付けることで、持続可能な開発目標が実現できるまちを目指します。

日置市市民憲章

わたくしたちは、ひかり輝く日置市をめざして、ここに市民憲章を定めます。

- 一、子どもたちに希望、お年よりに幸せのあるまちをつくります。
- 一、働くことに夢があり、豊かなまちをつくります。
- 一、伝統文化を生かした教育のまちをつくります。
- 一、豊かな自然環境を大切に、市民すべてが健康なまちをつくります。
- 一、きまりを守り、力を合わせ安心・安全なまちをつくります。

平成 18 年 5 月制定



市章

市章は、日置市の平仮名の頭文字「ひ」の文字をイメージしたもので、中心の赤い丸は南国の太陽を、「ひ」の文字をかたどるブルーの曲線は、日本三大砂丘吹上浜を代表する豊かな自然と悠久の歴史や文化を象徴し、日置市が歴史や自然との調和を生かした都市づくりを目指し、未来へ羽ばたこうとする躍動感を表現しています。



市花「うめ」

バラ科の落葉高木。四君子（蘭、菊、梅、竹）の一つとして、気品と気高さを象徴し、古くから教育や文人精神を表した植物とされています。日置市との歴史的なつながりも深く、広く市民に親しまれています。



市木「クロマツ」

松科の常緑高木。日置市が有する日本三大砂丘の一つ吹上浜には、白砂青松と言われる青々とした松林がたくましく育っています、力強い生命力で、歴史を刻み発展する日置市を象徴する植物として制定されました。